

令和2年2月3日

西部農林振興センター浜田農業普及部

標 題	国際水準GAP認証取得に向けた研修会を開催！
------------	-------------------------------

(ダイジェスト)

GLOBALG.A.PやJGAP等の国際水準GAPや島根県版GAPである「美味しまね認証」の普及・推進を目的に、農業者・関係機関等を対象とした研修会を開催しました。

国内外のGAPを取り巻く情勢から、今後は国際水準GAPの取得が必要であると、参加者全員が認識を新たにしました。

当普及部管内は、JGAP取得経営体が1、「美味しまね認証」取得経営体が16（別に団体認証4）ありますが、「美味しまね認証」取得経営体はいずれも「基本認証」であり、今後は上位認証基準である「美味しまねゴールド」へ誘導し、国際競争力に耐えうる経営体を育成していく必要があります。

そこで、「美味しまね認証」の「基本認証」から「美味しまねゴールド」への移行啓発、そして「美味しまねゴールド」から国際水準GAPへステップアップを図ってもらうことを主眼に、1月27日（月）に標記の研修会を開催し、農業者・関係機関等から27名の参加がありました。

前段では、農林水産省の主催する研修会・講習会のGAP講師としても活躍されている、安心農業株式会社の藤井淳生（あつお）代表取締役社長をお招きし、「国際水準GAP認証取得で目指すもの」を演題に、講演をいただきました。

講演では、国内外を取り巻くGAPの情勢から、今後、市場で起きる「3つの変化」（①日本人の人口減少、②予想以上の国際的な市場の変化、③食品加工業界での食品安全の取り組み）から、国際水準GAP認証取得の必要性をユーモアを交え、分かりやすく話していただきました。

また、後段では、農産園芸課食の安全推進室の高田室長より、「美味しまねゴールドを中心としたGAPの推進について」と題し、「美味しまねゴールド」の概要や「基本認証」より強化された点等について、説明を受けました。

参加者に行ったアンケートの結果を見ると、国際水準GAPの必要性を「強く感じた」「少し感じた」と、回答者全員が答えており、その必要性を痛感していました。

農業普及部では、今後も関係機関とともにGAPの普及・推進を行っていく中、「美味しまねゴールド」取得に向けた取り組み支援を図っていきたいと考えます。



研修会の一コマ①



研修会の一コマ②